

関係課調査及び居場所実施者アンケート実施状況

1 関係課調査（11月24日～12月1日）

(1) 区の子どもの居場所の現状等を把握するため、次の分類により関係課調査を行った。

○ 区が実施するもの（指定管理・委託を含む）

① 子ども専用の区立施設・事業

保育園、子供園、子ども・子育てプラザ、児童館、放課後等居場所事業、学童クラブ
ゆう杉並、一時預かり事業、子どもショーステイ事業、小・中学校（放課後子ども教室等
の放課後活動） など

② 一般区民を対象にする区立施設・事業で、子どもが利用できる（保護者同伴を含む）もの
コミュニティふらっと、地域区民センター、区民集会所、図書館、社会教育センター
博物館、プール、体育館、運動場、公園、児童遊園、プレーパーク事業 など

※ 実態として子どもの利用（当該施設の行事に参加する、保護者と一緒に訪れるなど）
があっても、子どもの利用を前提としていないもの（高齢者専用施設、区役所本庁
舎など）は除く。

○ 民間団体等が実施するもの（区の補助の有無にかかわらず、区とつながりがあるもの）

① 子どもを対象としている施設・事業

幼稚園、保育園（私立）、放課後等デイサービス事業、児童発達支援事業、つどいの広場
子ども食堂、学習支援の場 など

※ 営利活動として実施しているもの（子育て応援券事業者を含む）は除く。

(2) 関係課調査により抽出した居場所の概要

○ 別紙のとおり

2 居場所実施者アンケート（12月13日～12月25日）

(1) 関係課調査により抽出した居場所に対し、次のとおりアンケートを実施した。

○ アンケート項目

子ども専用の区立施設・事業

民間団体等が実施する子どもを対象としている施設・事業

- ・ 居場所（事業）名、実施場所（所在地）、運営主体（事業者名）
- ・ 活動内容や目的を教えてください。
- ・ 対象としている子どもを教えてください。
- ・ 利用するために必要なことがあれば教えてください。（事前の申し込みが必要など）
- ・ 居場所（事業）を立ち上げた背景や経緯を教えてください。
- ・ 子どもに関わる際に、大切にされていることを教えてください。
- ・ 杉並区とどのように関わっていますか。また、今後どのように関わっていきたいと考えていますか。
- ・ 居場所（事業）を運営する中で抱えている課題があれば教えてください。また、その課題解決に何が必要と考えているか教えてください。
- ・ 居場所（事業）の運営に、子どもの意見を反映されていますか。反映されている事例があれば教えてください。

- ・ 運営をされている居場所（事業）以外で、杉並区に必要なだと考える居場所はありますか。ご意見をお聞かせください。
- ・ 区が行う今後の「子どもの居場所づくり」に関してご意見がありましたらお聞かせください。
 - ※ 「子どもヒアリングの協力の可否」及び「居場所名・事業者名の公表の可否」についてもあわせて質問した。
 - ※ 区立施設・事業は、施設ごとではなく、施設種別ごとにまとめて回答とした。
 - ※ 次の場所等については、アンケート対象から除外した。
 - 乳幼児対象の場所で、自由利用を前提としていない場所（保育園、子供園、幼稚園など）
 - 教育活動としての学校
 - 療育等の特定ニーズの場所（児童発達支援事業、杉並区学齢期発達支援事業など）

一般区民を対象にする区立施設・事業

- ・ 施設・事業の名称
- ・ 施設（事業）の目的を教えてください
- ・ 主たる利用対象を教えてください
- ・ 子どもが当該施設を利用するために必要なことがあれば教えてください（事前申込が必要、要保護者同伴など）子どもの利用の様子を教えてください。（統計等の記録がない場合は、現場で感じている内容で結構です。）
- ・ 子どもの利用について、施設職員が留意していることはありますか
- ・ 施設の運営に、子どもの意見を反映されていますか。反映されている事例があれば教えてください
- ・ 子どもの利用に関し、抱えている課題はありますか
- ・ その課題解決のためには何が必要だと考えますか
- ・ 子どもの利用に関し、他の利用者等（大人）からの要望等がありますか

(2) 回答状況

子ども専用の区立施設・事業

居場所等の名称	箇所数	回答	所管課
児童館	26	一括	児童青少年課
児童青少年センター（ゆう杉並）	1	1	児童青少年課
子ども・子育てプラザ	7	一括	児童青少年課
放課後等居場所事業	15	一括	児童青少年課
学童クラブ	50	一括	児童青少年課
一時保育（子育てサポートセンター）	2	一括	保育課
一時預かり事業（子ども・子育てプラザ）	5	一括	地域子育て支援課
一時預かり事業（ひととき保育）	1	1	地域子育て支援課
杉並区子どもの学習支援・居場所事業	1	1	杉並福祉事務所生活自立支援担当
子どもショートステイ事業	2	一括	子ども家庭支援課
さざんかステップアップ教室（適応指導教室）	4	一括	済美教育センター教育相談担当

子ども日本語教室	2	一括	文化・交流課、済美教育センター
マルチ・スポーツクラブ	4	一括	学校支援課
学校部活動	23	一括	学校支援課
土曜日学校	30	一括	学校支援課
放課後子ども教室	13	一括	学校支援課
遊びと憩いの場	24	一括	学校支援課
子どもプレーパーク事業	1	1	児童青少年課

民間団体等が実施する子どもを対象としている施設・事業

居場所等の名称	箇所数	回答	関係課
一時保育（私立保育園）	9	0	保育課
学童クラブ（民間）	4	2	児童青少年課
放課後等デイサービス事業所	24	4	障害者施策課
一時預かり事業（ひととき保育）	4	1	地域子育て支援課
つどいの広場	3	2	地域子育て支援課
子ども食堂	40	4	子ども家庭部管理課
きずなサロン	7	1	保健福祉部管理課
プレーパーク	2	2	児童青少年課
その他（中・高校生の居場所）	1	0	児童青少年課

一般区民を対象にする区立施設・事業

居場所等の名称	箇所数	回答	所管課
図書館	13	一括	中央図書館
体育施設	17	一括	スポーツ振興課
公園、児童遊園	335	一括	みどり公園課
地域区民センター	7	一括	地域課
区民集会所	8	一括	地域課
コミュニティふらっと	5	一括	地域課
区民会館	3	一括	地域課
区立学校のプール開放	3	一括	学校支援課
学校開放事業	63	一括	学校支援課

(3) アンケートの回答から（抜粋）

居場所（事業）を運営する中で抱えている課題があれば教えてください。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の老朽化、学童クラブの肥大化（児童館） ○ 利用人数が増加するのに伴い、使えるスペースが狭かったり、限られる中で十分に活動することができないことがある（放課後等居場所事業） ○ 大規模化、特別支援児童の増加、待機児童（区立学童クラブ） ○ 事業拠点が一つだけしかないこと（非公開） ○ 不登校児童・生徒の人数が年々増加、児童・生徒それぞれの課題が複雑化・多様化している（非公開） ○ 定員を超える応募への対応や恒常的な場所の確保（日本語教室）

- 就労している保護者が増えており、長い時間の預かりを求められる（放課後等デイサービス）
- 重度心身障害児の放課後等デイサービスが少ない（非公開）

運営されている居場所（事業）以外で、杉並区に必要なと思う居場所はありますか。

- 自由に使える体育館
- 様々な運営主体が実施する居場所があり、生徒が複数の選択肢から活動を選べるのが大切
- のびのびと放課後に過ごせるように多様な居場所があればよい
- 高学年が過ごせる場所（ボール遊びができる公園など）が必要
- 学童クラブの待機児童増加含め、居場所の確保
- 高齢者や児童（障害児があってもなくても）が放課後過ごせる場所
- 長時間の預かりをしてくれる場所
- 小学校を卒業した後の放課後の居場所
- 学童クラブ型の放課後等デイサービス
- 子ども食堂
- 学校にいけない子どもたちが、安心して集える場所
- 児童館が終わった後、両親がかえってくるまでの居場所
- 公園をもっとみんなにとって居心地の良い居場所として活用できるようリニューアル
- 不登校の子ども、大人数が苦手な子ども（HSC等の特性がある子ども）、発達性読み書き障害のある子どもが、多様な学びや体験を、無料で受けられる居場所

区が行う今後の「子どもの居場所づくり」に関してご意見がありましたらお聞かせください。

- 増え続ける共働きの保護者のために、子どもの育成を考えつつ手厚いサービスをしていきたいと思えます。施設費や人件費も高騰しつつあり、補助金などを出して頂けると助かります。
- 小学校内での学童クラブ運営について、場所の確保が難しく、学校外に設置する民設の学童クラブに対して補助金を出して、小学生の居場所確保（学童クラブ）をしている自治体様が増えていると実感しています。杉並区でもそのような制度のご検討をいただくと大変ありがたいと考えております。
- 単一部署の所管とせず、高齢者施策課、障害者施策課、児童青少年課など関連する部署が協働して制度化して欲しい。
- （放課後等デイサービスは）子どものためにも、保護者のためにも、長時間の預かりは絶対必要。
- 学校や学童クラブ以外に子どもの居場所を確保してあげてほしい。
- 家・学校・学童クラブ以外の居場所は必要だと思う。
- 年齢で分ける居場所も必要だが、赤ちゃんから高校生まで分けることなく過ごせる居場所があると近い未来に親になる事への想像が出来たり子育てへの興味関心が持てるのでは。
- 現在子ども子育てプラザのような広い場所で多くの親たちが集まり交流していると思うが、元気なママたちが集まるグループや大人数での交流が苦手な方もいるので、そういうママたちが一人でお子さんと遊びに来て寂しくなく、他の方とつなげるスタッフがい

る場所というのも必要だと思う。

- 卒園児の保護者から、法人に対して「子どもの居場所」を作ってほしいとの要望を直接受けた。地域の子育て世帯の様々な悩みがあると感じる。核家族化して、親の責任が重くなり気軽に相談することもできない中、子どもたちは益々生きづらくなっているのではないかと心配する。「ゆう杉並」のような施設が身近にあるといい。
- 区内に小学生や中学生が自由に遊べる居場所がないので、区として合併した学校敷地や公園での遊びや、室内で遊ぶことのできる施設の確保をしてほしい。
- こども食堂を子どもの居場所としてちゃんと取り組んで欲しい。
- 貧困が見えにくくなっています。本当に必要な世帯に支援を届けるためには行政との連携が必要です。
- 子どもの意見を聞くことはもちろん大切ですが、特に年齢の小さい子どもは意見表明が難しいです。子どもの意見だけでなく、ママ、パパたちの声を聞くことはもちろん、子育て中ではない人の意見も聞いた方が良いと思います。公園や保育園、小学校に「うるさい」と苦情を入れる人たちの声も聞かないと、子どもにとって優しい街づくりには近づかないのではないかと思います。
- 優等生だけでなく、少数派の子どもたちの声も広く集めて、進めていただきたいと思います。